

2022年3月20日(日)午前10時30分

《受難節第3主日・ライブ中継による礼拝》

※本庄教会の礼拝では
聖書は『新共同訳』を
賛美歌は『讚美歌21』を
使用しています。

前奏	
招詞	イザヤ書53章5節
頌栄	24 (たたえよ、主の民)
主の祈り	*下記をご覧ください。
讚美	8※1、3のみ(心の底より)**
交読	『交読詩編』31:8~14
信仰告白	使徒信条 *下記をご覧ください。
聖書	旧約 エレミヤ書 31:3~6、33~34 (旧約1234、1237頁) 新約 エフェソの信徒への手紙 4:1~6、13~16 (新約355頁)
祈り	
讚美	306※1、5のみ(あなたもそこにいたのか)**
説教	『キリストの愛に根ざす神の家族』 疋田義也 牧師
祈り	
讚美	481※1、4のみ(救いの主イエスの)**
献金	
頌栄	29 (天のみ民も)
派遣・祝祷	
報告	
後奏	**讚美歌は短めとなります。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。
み国を来たさせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄とは
限りなくなんじのものなればなり。
アーメン。

使徒信条

我は天地の造り主^{めし}、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子^{ひとご}、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくんだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り^{のぼ}、全能の父なる神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん^{さば}。

我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、からだのよみがへり、とこしえのいのちを信ず。アーメン。